

部 局	環境部	補 職	部長	氏 名	藤家 寛
-----	-----	-----	----	-----	------

1. 部局の使命

SDGsの目標のひとつである気候変動への対策として脱炭素社会、循環型社会及び都市における自然との共生をめざした社会を実現するため、市民・事業者等の連携と役割分担を明らかにするとともに、本市においての安全で快適な都市環境づくりを推進する総合的な仕組みを構築し、将来の世代に環境にやさしく快適な暮らしを引き継いでいく。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
○脱炭素社会、循環型社会及び都市における自然との共生をめざした社会の構築と、第3次環境基本計画に示す望ましい環境都市像の実現のため ①温室効果ガス排出量の削減 ②プラスチック類の削減・資源化の促進 ③子育てしたいと思える公園みどりのまちづくりを推進します。 ・市域でのゼロカーボンを推進するため、市内事業者を対象とした支援について検討、実施します。 ・市の事務事業における取り組みを推進するため、庁内関係部局と情報を共有し連携を進めるとともに、他自治体との地域間連携、事業者等との公民学連携に取り組みます。 ・公園の利活用がより一層図られるよう、公民連携による再整備並びに地域住民とともにつくる特色ある公園づくりを推進します。 ・みどりの保全や創出に取り組むとともに、市民参加による緑化を推進します。 ・3R(発生抑制・再使用・再生利用)行動を通じた資源循環の推進や、廃棄物の減量に向けた施策の拡充を進めます。	○脱炭素社会、循環型社会及び都市における自然との共生をめざした社会の構築と第3次環境基本計画に示す望ましい環境都市像の実現のため、以下の取り組みを進めました。 ・市域でのゼロカーボンを推進するため、令和6年度(2024年度)には、あらたに事業者向け電気自動車等購入支援補助金の対象を市民へと拡大するとともに、市内の中小事業者を対象に、脱炭素経営を進める必要性等について、脱炭素経営セミナーを開催しました。 ・市の事務事業における取り組みとして、市内公共施設の照明設備のLED化を実施しました。また、クリーンランド電力(非FIT)を公共施設に供給する電力の地産地消にも取り組みました。 ・他自治体との地域間連携として、NATSをはじめ、伊丹市、クリーンランドといった近隣地方公共団体との協働を進めるとともに、「森林環境保全に関する自治体間連携協定」の締結先市町とカーボン・オフセット事業や環境学習等を実施しました。 ・特色ある公園づくりについては、千里中央公園での公民連携の実績、小規模公園の特色ある公園づくりに加え、グリーンインフラによるまちづくり基本方針の策定、豊中つばさ公園ma-zikaを整備しました。また、花いっぱい運動」を拡充するあらたなしくみとして、「花いっぱい大作戦」を構築しました。市民・事業者などの新たな担い手・参画者を拡げるとともに、花壇・フラワーポットの拡大、広報・PRの拡大のしくみを整えました。 ・資源循環の取組を推進するため、豊中市・伊丹市両市から、豊中市伊丹市クリーンランドに搬入されるペットボトルの一部を水平リサイクルする協定を締結しました。また、家庭から出る廃食用油をリサイクルするため、日本航空とSAF(持続可能な航空燃料)に係る協定を締結しました。

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	ゼロカーボンシティ実現に向けた取組みを推進	(1)省エネルギー・創エネルギーの取組み ①市民向け地球温暖化対策事業の実施 （講座1回、7月～9月：省エネ家電購入キャンペーン253件、11月：省エネ相談会の実施） ②スマートハウス等支援補助事業の実施 （5月～：279件、22,549千円） ③電気自動車等購入支援補助事業の実施 （5月～：市民50件、事業者16件、8,200千円） ④公共施設への電気自動車用充電器設置 （5月：DMMと覚書締結、2月：運用開始（武道館ひびき4基、庄内コラボ4基）） ⑤事業者の脱炭素化に向けた啓発及びニーズ把握（8月：事業者向けセミナー開催参加事業者12者）	市民への地球温暖化対策の周知・啓発、各補助事業を引き続き行うとともに、令和6年度(2024年度)に実施した事業者の脱炭素化に向けたニーズ把握をもとに市の温室効果ガス排出量の約3分の2を占める事業系（業務部門や産業部門など）への取組みを強化します。 また、電動車普及を促進するため、事業者・市民を対象に引き続き補助事業を実施するとともに、公共施設への電気自動車用充電器設置を検討します。
	(1) 省エネルギー・創エネルギーの取組み ①市民向け地球温暖化対策事業の実施 ・市民向け環境学習講座の企画 ・省エネ家電購入キャンペーン ・省エネ相談会開催 ②スマートハウス等支援補助事業の実施 ・太陽光発電設備設置、断熱リフォーム等への補助 ③電気自動車等購入支援補助事業の拡大〔拡充〕 ・対象を事業者に加え個人にも拡大 ④公共施設への電気自動車用充電器設置〔新規〕 ・民間事業者との協定に基づき、9口設置予定 ⑤事業者の脱炭素化に向けた啓発及びニーズ把握〔新規〕 ・事業者向けセミナーの開催	(2)環境学習の推進 ①隠岐の島町、能勢町での自然環境学習プログラムの実施 （7月：隠岐の島町現地体験参加者20名、10月・11月：能勢町親子間伐体験参加者48名） ②能勢町、吹田市との体験型環境学習(里山デイキャンプ)の実施 （9月：里山デイキャンプ参加者36名）	
	(2) 環境学習の推進 ①自然環境学習プログラムの実施 ・隠岐の島町での自然体験、バイオマス施設見学等 ・能勢町での間伐体験 ②能勢町、吹田市との体験型環境学習 ・里山デイキャンプの実施		
	総合計画		
	3-2- (1) 脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めます		
	基本政策		
	34 ゼロカーボンシティの実現		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	市の事務事業における取組みを推進	(1)市有施設のLED化の実施 （8月：事業者と覚書締結、10月～3月：施設所管課ごとに契約（消防施設・小中学校・郷土資料館・千里文化センター・共同利用施設） (2)公用車の電動車化の推進 （通年：公用車のゼロエミッション車導入の検討） (3)カーボンニュートラルなエネルギーの活用 ①クリーンランド電力の活用と検討 （10月：FIT・非FIT電力の地産地消に関する協定締結（伊丹市・クリーンランド）、10月：FIT電力の共同調達支援に関する協定締結（伊丹市、エナバンク）） ②地産地消の方策の検討 （通年：公共施設への太陽光発電設備設置に向けた検討） (4)木材利用の推進 （通年：市有施設等における内外装の木質化の検討） (5)カーボンオフセット事業の実施 ①隠岐の島町、能勢町における事業実施 ②対象自治体の拡大 （7月：宍粟市覚書締結、2月：甲府市協定締結）	市の事務事業における温室効果ガスの排出量を削減するため、市内の小中学校や義務教育学校を始め、市有施設のLED化を引き続き進めます。 また、公用車の電動車導入、再生可能エネルギーの導入など、市役所の率先行動に取り組みます。 また、温室効果ガス排出量を削減するカーボン・オフセットについて、自治体間連携を拡大します。
	(1)市有施設のLED化（85施設）〔新規〕【重点】 4月～ 事業者募集に向けた準備 6月 プロポーザル方式による事業者選定 6月～ 現地調査 令和6年度（2024年度）～令和7年度（2025年度） 工事 (2)公用車の電動車化の推進 ・公用車の更新時にゼロエミッション車を導入 (3)カーボンニュートラルなエネルギーの活用〔拡充〕【重点】 ①クリーンランド電力（拡大含む）活用に向けた検討 ・クリーンランド・伊丹市との事業スキーム検討、対象施設の選定 ②地産地消の方策の検討 ・公共施設への太陽光発電設備設置に向けた検討等 (4)木材利用の推進 ・市有施設等における内外装の木質化を推進 (5)カーボンオフセット事業の実施 ①隠岐の島町、能勢町における事業実施 ②対象自治体拡大の調整（宍粟市、山形市）		
総合計画			
3-2- (1)	脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めます		
基本政策			
34	ゼロカーボンシティの実現	59	地産地消の推進

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	魅力ある公園づくりの推進	(1) 公民連携による魅力ある大規模公園づくり ① 千里中央公園 「1000RE SCENES」での事業拡充により、公園の利用方法、利用者の拡大を進め、展望台エリアの活用方法や整備内容について、民間事業者からの具体的な活用内容の提案も含めた検討内容を政策会議に諮るなど精査を実施。 ② 原田緑地 令和7年度（2025年度）8月Ⅰ期オープンに向け、整備工事の調整、指導、指定管理仕様書など運営の具体的内容精査。名称を「豊中つばさ公園ma-zika」と決定し、告知・PR等の準備 ③ 大規模公園における公民連携事業 ・ふれあい緑地でのカフェ設置公募実施に向け、民間事業者へヒアリング等の実施、公募に向けた内容を精査。 ・千里東町公園、ふれあい緑地、神崎川公園についてグリーンインフラの機能導入に向けたケーススタディを実施。 (2) 小規模公園再整備計画（案）に基づき、北丘小学校区内の3公園について再整備を実施。 ・地域における整備後の公園の管理運営に向けたルール作りについて、地域自治協議会との協議検討。	(1) 公民連携による魅力ある大規模公園づくり ① 千里中央公園 「1000RE SCENES」を拠点に、事業者や地域との連動による公園の活性化に向けた取組を継続的に実施。展望台エリアの活用方法に向けた展望台の存廃双方における検討・精査を経て令和7年度（2025年度）内に方針決定。 ② 原田緑地 ・令和7年（2025年）8月のⅠ期オープン。事業の安定した遂行のため、指定管理者への指導、引き継ぎ。Ⅱ期工事の遂行 ③ 大規模公園における公民連携事業 ・ふれあい緑地における屋根付き広場設置検討や、カフェの整備・運営など、今後の民間事業者との公民連携事業実施に向けた検討を推進。 ・千里東町公園については、千里中央地区の再整備と連動した今後の進め方や方向性について、関係部局等との継続的な協議を実施するとともに、地元協議の進め方について調整。 (2) 地域団体等と連携し、小規模公園を特色ある公園づくり。 モデル地区（北丘小学校区）での取組み内容をもとに、他小学校区への展開に向けた検討を実施。
	(1) 公民連携による魅力ある大規模公園づくり ① 千里中央公園〔拡充〕【重点】 ・第2フェーズにおける展望台エリアの活用方法や整備内容の精査に向けた民間事業者に対するサウンディング等の実施（4月～） ・公民連携事業実施に向けた方針の確定 ② 原田緑地 ・都市活力部空港課・指定管理受託事業者と連携し、空港に隣接するという立地特性を活かした公園整備を進める 詳細設計（5月～）Ⅰ期工事（6月～） ③ 大規模公園における公民連携事業実施に向けた再検討〔拡充〕【重点】 ・ふれあい緑地の活性化 民間事業者へのヒアリングの実施（4月～） 公民連携事業実施に向けた公募の実施（12月～） ・千里東町公園や神崎川公園 ケーススタディによる具体的展開の検討		
	(2) 地域団体等と連携した小規模公園の特色ある公園づくり ① モデル地区（北丘小学校区）で再整備 ・令和6年度（2024年度）の公園整備（3公園） 設計・積算（4月～8月）、工事（10月～） ・整備後の公園における運営管理方法（ルール作り等）構築および地域による公園の活用開始（4月～） ② 他小学校区への展開検討（4月～）		
総合計画			
3-1-	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる取組みを進めます		
基本政策			
57	まちの魅力アップ		

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	都市緑化の推進と緑化保全		(1)第2次みどりの基本計画に基づいた施策 ①PDCAサイクルを用いた進行管理の実施 ・みどり率の減少傾向に対する必要なみどりの量や質に対する戦略的な施策の検討 ②グリーン・インフラによるまちづくりに向けた調査検討の実施 〔新規〕【重点】 ・みどりの基本計画を補完するものとしてグリーンインフラの導入による公園やみどりの持続的な維持管理や利活用によるまちづくり方針の策定	(1)第2次みどりの基本計画に基づいた施策 ①「第2次豊中市みどりの基本計画」の改定に向けた検討の実施。 ・令和9年度(2027年度)の改定に向け、委託に向けた仕様やスケジュール等、今後の進め方について検討を開始。 ②グリーンインフラによるまちづくりの実施 ・公園みどりに対する市民意識の多様化への対応、維持管理、利活用における地域や市民・事業者との連携強化拡充を図るため、グリーンインフラによるまちづくりを推進。
	(2)市民との協働による緑化の推進 ①都市緑化の推進 ・「ふれあい広場SEED」、「幸町3丁目公園さくら花壇」などにおける市民との協働による花壇活動 ・南部地域での「みどりに関するイベント」など開催 (4月・3月)みどりのつどい ②都市緑化の保全 ・市民との協働による保全や自然環境啓発 春日町ヒメボタル特別緑地保全区域、島熊山緑地など ・島熊山緑地内旧千里少年文化館の活用 ヒメボタル学習会・観察会(5月)、島熊山自然学習(4月・1月)		(2)市民との協働による緑化の推進 ①都市緑化の推進 ・ふれあい広場SEED、幸町3丁目公園さくら花壇等で市民との協働による花壇活動、啓発講座を実施。 ・市が事務局を務める「豊中みどりの交流会」が高齢化等により活動の衰退の改善が見込めないため、事業の終了を決定した。 ②都市緑化の保全 ・市民活動団体との協働により「ヒメボタル学習会・観察会」「島熊山春の自然観察会」をそれぞれ2回実施。	(2)市民との協働による緑化の推進 ①都市緑化の推進 ・豊中みどりの交流会事業の終了を踏まえ、同交流会に関連する事業の抜本的見直しを検討。 ②都市緑化の保全 ・引き続き市民活動団体との協働により、ヒメボタルの生息や自然環境への影響を考えながら保全と啓発を実施。
	総合計画			
	3-1-(2)	自然環境や都市のみどりを身近に感じられる取組みを進めます		
基本政策				
	57	まちの魅力アップ		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	協働による循環型社会の構築	(1)①処理対象物拡大に伴う事業系ごみ処理機設置補助金制度を改定。伊丹市、豊中市伊丹市クリーンランド、民間事業者とペットボトルの水平リサイクルに関する連携協定を締結。家庭から排出されるごみの実態調査を実施。フードドライブ事業においては、豊中市社会福祉協議会、ヤマト運輸と連携。 ②NP0法人ハニービーと「エコdeさんあい豊中エコショップ+第13回さんあいイベント」を開催。 ③小型家電製品を含む収集体制の検討を実施。 ④市有施設での子ども服リユースの常設設置。家具類等については、関係部局への提供、「ジモティー」や「おいくら」の活用。 ⑤伊丹市とし尿処理委託業務及びし尿処理施設建設については協議を実施。	(1)①事業系ごみ処理機設置補助金の補助率及び補助金額の上限を拡充します。また、ペットボトルの水平リサイクルの量を拡大します。事業系ごみ排出実態調査を実施し、次期計画の施策に反映させます。引き続き、効率的・効果的にフードドライブ事業を実施します。 ②エコショップ認定店舗拡充に向け、周知啓発活動に引き続き取り組みます。 ③小型家電製品を含む収集体制の検討を進めます。 ④子ども服リユースについては、各団体等が独自で実施できるようサポートします。また、「ジモティー」「おいくら」については、引き続きあらゆる媒体を通じて市民周知に取り組みます。 ⑤伊丹市とし尿処理施設建設について、引き続き協議を行います。
	(1) 家庭系・事業系一般廃棄物減量の推進 ①食品ロスやプラスチック類削減に向けた施策の推進【重点】 ・事業系ごみ処理機設置補助金制度の改定(5月～)【拡充】 ・公民連携によるペットボトル水平リサイクルの実施(7月～)【新規】 ・家庭系ごみ排出実態調査の実施(11月) ・フードドライブ事業の実施 ②豊中エコショップ制度の活性化 ・エコショップフェスティバルの実施(11月) ③充電式電池内蔵の小型家電・電池類回収の促進【重点】 ・小型家電製品を含む収集体制の検証 ④3R事業の推進 ・子ども服リユースを市民団体やNP0などと協働し、リユースできる場所・機会の拡大を推進(4月～) ・家具類等のリユースの循環体制の構築 ⑤し尿等の安定処理 ・し尿処理委託業務の調整、協議 ・し尿処理新施設の建設に係る協議	(2)環境配慮制度に基づく事業者との協議を行い、環境影響評価手続きを実施。 (3)YouTubeの動画を制作し、地域清掃登録者の拡充を図った。また、庄内駅前東口屋外分煙所について、屋外分煙所の改修に向けた協議を実施。 (4)能登半島地震に派遣した職員の経験・教訓を踏まえ、仮置き場の選定を中心に見直し。	(2)引き続き、環境配慮制度・環境影響評価制度を運用するとともに、今後の制度の在り方について検討します。 (3)地域清掃登録者を拡充するための動画を作成します。令和7年度(2025年度)に、庄内駅前東口の屋外分煙所の改修を行います。 (4)国や府の動向、災害事例を踏まえ、適宜、災害廃棄物処理計画計画の見直しを行います。
	(2) 環境配慮・環境影響評価制度の推進 ①環境配慮制度に基づく事業者協議 ②環境保全審査会の開催、市長意見取りまとめ		
	(3) 美しいまちづくりの推進 ①地域清掃活動団体等の拡充 ②路上喫煙防止の推進		
	(4) 災害発生時に備えた対策 ①災害廃棄物処理計画の点検・見直し ②災害廃棄物仮置場候補地に関する調整及びリストの充実		
総合計画			
	3-2-(2) 循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
基本政策			
	34 ゼロカーボンシティの実現	67	公民学連携の推進

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
1	ゼロカーボンシティ実現に向けた取組みの推進 （１）第2次豊中市地球温暖化防止地域計画及び第4次豊中市地球温暖化対策実行計画における温室効果ガス排出量の削減目標の達成に向け、計画に掲げる取組み事項に着実に取り組みます。		①エコカー・ゼロエミッション自動車の普及 令和 6年度(2024年度)～：公共施設への充電器設置 令和12年度(2030年度)：公用車への電動車の導入率100% ②市公共施設におけるゼロカーボンの取組み 令和 6年度(2024年度)～：公共施設のLED化 令和12年度(2030年度)：本庁舎におけるCO2排出量実質ゼロ ③カーボンオフセット事業実施開始 令和7年度(2025年度)：宍粟市 令和8年度(2026年度)：山形市	
	総合計画			
	3-2- (1)	脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めます		
	基本政策			
	34	ゼロカーボンシティの実現		
2	魅力ある公園づくりの推進 （１）公園の魅力向上のため、既存公園においては、千里中央公園などの大規模な公園では公民連携による再整備により活性化を図り、小規模な公園では小学校区単位で地域団体等との連携により画一的な公園から役割分担により公園の機能を特化させる、特色ある公園づくりを進めます。また、新たな公園の開設に向けた取組みを進めています。 （２）立地特性や市民ニーズに応じた特色ある公園緑地の整備・運営 ①千里中央地区の再整備の取組みと連携し、千里中央公園や千里東町公園の施設の更新や歩行者ネットワークの連絡強化など北部大阪の都市拠点にふさわしいシンボリックな地域の魅力向上につなげます。 ②原田緑地の公園づくり ③立地特性や市民ニーズに応じた特色ある公園緑地の整備・運営について検討		①千里中央公園 令和6年度：第2段階に向けたサウンディング実施、公募実施 令和7年度：第2段階での公民連携による公園整備、運営開始 ②大規模公園 令和6年度：公園の選定及び事業スキームの構築 令和7年度：民間事業者の公募 ③小規模公園（小規模公園再整備計画に基づき実施） 令和6年度：北丘小校区残りの3公園整備とルール詳細検討、 令和7年度：新たな小学校区での展開（南部地区） ④新たな公園 ・金坂池跡地（令和6年度：整備工事） ・（仮称）原田緩衝緑地（令和6年度：設計、整備工事着手、 令和7年度：一次供用開始、令和8年度：全体供用開始）	
	総合計画			
	3-1- (2)	自然環境や都市のみどりを身近に感じられる取組みを進めます		
	基本政策			
	57	まちの魅力アップ		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
3	第2次みどりの基本計画の推進と進行管理		令和6年度：「グリーン・インフラによるまちづくり方針」の策定 令和8年度：緑被量調査、市民意識調査実施 令和9年度：みどりの基本計画改定 （「グリーン・インフラによるまちづくり方針」を包含する）	
	【みどりの基本計画】 （１）中間総括での施策方針を踏まえ、引き続き第2次みどりの基本計画に基づいた施策を推進するとともに、PDCAサイクルを用いた進行管理をします。 （２）中間総括を受け、同基本計画の期間終了（令和9年度）までに、以下の点について検討・試行を重ね、課題整理と方向付けを行います。 ・まちづくりの進展、市民生活の変化に伴う、みどり・公園緑地の整備・利活用の方向性 ・持続可能な維持管理、適切な保全と利活用に関する市民との協働のあり方 【グリーン・インフラによるまちづくり方針】 ・公園がまちづくりの中で機能を発揮できるよう、市・市民・事業者との協働による利活用・維持管理の方針を検討し、みどりの基本計画を補完する「グリーン・インフラによるまちづくり方針」を策定する。			
	総合計画			
	3-1- (2)	自然環境や都市のみどりを身近に感じられる取組みを進めます		
基本政策				
	57	まちの魅力アップ		
4	協働による循環型社会の構築		（１） 令和7年度 事業系ごみ排出実態調査 令和9年度 第5次一般廃棄物処理基本計画策定 （２） 継続した情報収集を行うとともに、廃食用油に特化したSAFについての実施可能性を検討 （３） 継続した情報収集と三者協議会での情報共有を継続して実施 （４） 子ども服リユースの常設実施に向けた協議・社会実験 （５） 令和6年度：充電式電池等と発火件数との調査研究 令和7年度：小型家電製品を含めた回収品目の設定 令和8年度：小型家電製品を含めた定期収集の開始 （６） 令和6年度 関係課、団体との協議、評価項目検討 令和7年度：評価項目の作成 令和8年度：導入 （７） 安定的な処理に向けた協議、新施設建設に係る方向性の検討	
	（１） ごみ減量施策の進行管理 （２） 廃棄物からSAF（持続可能な航空機燃料）を製造する取組みの調査・研究 （３） プラスチック資源循環促進法の理念に基づく、製品プラスチックのリサイクルに向けた調査・研究 （４） 子ども服リユースが、一年を通じて行えるよう環境整備の実施 （５） 適正なごみ排出方法についての検討 （６） ごみ収集運搬業務委託の総合評価入札導入に向けて関係機関との協議・検討 （７） し尿等の安定的な処理の推進			
	総合計画			
	3-2- (2)	循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
基本政策				
	34	ゼロカーボンシティの実現	67	公民学連携の推進